

関節の痛みで悩んでいませんか

リウマチ科主任部長 萩原 敬史 たかふみ

平成6(1994)年大分大学卒業後、鹿児島大学第一内科入局。鹿児島赤十字病院、東広島記念病院などの勤務を経て平成24(2012)年に当院に赴任。平成31(2019)年4月からリウマチ科主任部長。

日本リウマチ学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医、日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本骨粗鬆症学会認定医。



当院のリウマチ科では、関節の腫れを伴う関節炎の診療を行っています。

Q1. 関節炎とはどのような疾患ですか

関節炎の原因はさまざまですが、疾患の種類は大きく次のように分けられます。

- ①関節炎治療を生涯必要とするもの（乾癬性関節炎や関節リウマチなど）
- ②原疾患（大本の病気）治療で関節炎が治まるもの（痛風、膠原病など）
- ③時間経過で関節炎が落ち着くもの（ウイルス・細菌感染に関連した関節炎など）

特に①と②については、生涯に渡って適切な治療が必要です。

他にも、関節炎ではありませんが、何らかの原因で関節痛のみを有する代表的な疾患として、手指や膝などの変形性関節症などがあります。

Q2. 関節リウマチの治療について教えてください

当院のリウマチ科で治療を行う代表的な疾患の一つが関節リウマチです。

他の疾患や原因、病態の診断を行い、合併症などの状態を判断した上で最終的な治療方針を提案しますが、関節リウマチという診断がついた場合、残念ながら治癒はまずありえません。

しかし、現在では治療薬が開発され早期の治療や

リハビリなどにより、臨床的寛解（病気の勢いをコントロールした状態）を維持できれば、関節破壊はほぼ進行しなくなりました。これにより、日常生活や社会活動を発症前に近い状態まで回復することが可能です。

ただし、発病から長期間経過するなどして、関節破壊が進行した部分は、薬物治療では回復できないため、手術や装具で機能回復や痛みの緩和をはかる必要があります。

生涯に渡り治療を継続する必要がある疾患には、初回の薬物治療は原則として入院で行っています。また、入院中に生活指導やリハビリテーションを行い、病気と上手く付き合う方法をお伝えしています。

Q3. 手術を行うことはありますか

薬物治療で回復しない関節障害は、手術を行う場合があります。これまでも膝や股関節の手術は整形外科で行っていましたが、4月からリウマチ科に柏木聡医師が赴任し、手指や足趾形成術などの手術も可能となりました。

Q4. 最後にひとことお願いします

関節炎の診断・治療は、かかりつけ医にご相談の上、リウマチ科初診外来を予約してください。なお、足趾変形（難治性胼胝含む）・手指変形による手術の相談は、かかりつけ医に相談の上、金曜午前にリウマチ科柏木医師の初診外来を予約してください。